

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### 1 整備提案の概要

整備提案名	岸谷公園を中心とした、まちの防災・防犯拠点の再整備	
提案グループ名	岸谷第二自治会	
整備したい場所	鶴見区	岸谷三丁目 (丁目まで記入下さい。詳細な番地は必要ありません)
想定整備費用と整備助成申請予定額	想定整備費用 450万円	整備助成申請予定額 450万円
整備したい施設の概要	<p>現在は個々バラバラに使用されている岸谷公園内放送塔、児童館、自治会長宅、自治会館、広報車の5拠点を無線LAN等で接続し、以下の3つの機能を有したシステムを構築する。</p> <p>①児童館、自治会長宅からの公園内放送塔を使用したスピーカー放送 ②公園内放送塔のマイクからのスピーカー放送 ③児童館、自治会長宅、自治会館、広報車の各拠点間通話</p> <p>また、広報車には青色回転灯を取り付け、防犯効果の向上を図る。</p>	
設計及び工事のスケジュール (設計、工事発注、完了時期など)	H17年12月19日 H17年12月20日～H18年1月31日 H18年2月1日～H18年2月17日 H18年2月21日～H18年2月24日 注1) H18年2月27日 H18年3月1日～H18年3月10日 H18年3月13日～H18年3月24日 H18年3月27日～H18年3月31日	発注 設計及び機器・部材等手配 機器設定/構築・工場試験 業者出荷前検査 業者出荷 現地機器設置工事 現地機器調整作業・総合試験 竣工検査
維持管理の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会活動にシステムの定期点検を取り入れる。</li> <li>年2回のさわやか運動（清掃活動）、夏祭り、お花見会、防災訓練、消火訓練等の自治会行事やイベントにあわせて使用し、システムの状態や使用方法の確認をその都度行う。</li> </ul>	

注1) 工事完了後、横浜市が完了検査を実施します。また、必要に応じて中間検査を実施する場合があります。

### 2 公共性について

<p>提案の背景にある地域の課題やニーズについて、記入してください。</p>	<p>岸谷公園は、すり鉢状の地形を有する地域の中心（底）に位置し、公園内の放送塔はまちのシンボルとなっており、ひとたび放送があれば、「何か」と皆が注意を傾けるほどに地域に浸透した存在となっている。</p> <p>この放送塔は、昭和58年に自治会の費用で建設されたものであり、設備の老朽化が激しく、部分補修を繰り返しながら何とか今日まで機能維持を図ってきた。また、操作の際には、塔の中段に設置されたボックス内の設備（アンプ、マイク等）を使用する必要があり、屋外で脚立を使つての作業となるため、安全性の確保や速やかな情報提供が困難な状況にある。このような状況では、今後予想される大地震や昨今の異常気象による大雨等の災害に対して、正しい情報を確実に速やかに伝えることについて大きな不安があるため、自治会役員を中心に早期の機能アップが望まれている。</p>
<p>整備したい施設が、どのような人たちに利用され、また地域でどのように役立つと考えますか？</p>	<p>整備された防災・防犯システムは、地域の防災・防犯活動の中核を担う自治会によって活用され、地域の防災力、防犯力の向上に直接的に役立つ。</p> <p>また、特に放送塔と広報車は、これまで以上に、自治会の行事やイベントの際にも分かりやすい広報手段として積極的に活用・PRし、より地域になじんだ存在となるようにすることで、地域住民の防災・防犯に対する意識の高揚にも役立つ。</p>

### 3 創意工夫について

<p>整備したい施設について、計画上創意工夫している点を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は屋外操作しかできない放送塔を、屋内の複数の拠点（児童館、自治会長宅）から無線LANにより、遠隔操作できるようにすることで、安全性、迅速性が飛躍的に向上する。</li> <li>広報車と各放送拠点をトランシーバーで交信可能にすることで、地区の状況を確認しながらのきめ細かい情報提供がリアルタイムで可能となる。</li> <li>自治会長宅には災害時等に区役所からの第一報が入ることになっており、そこにも放送設備を設けることで、時間のロスなく正確な情報を地域住民に提供することができる。</li> <li>自治会長宅に設置する無線LAN放送システムを可搬型とすることで、自治会長が代替わりする際にも軽微な設備整備だけで引き継ぐことができる。</li> </ul>
---	---

<p>整備工事における地域での費用や労力の負担について、創意工夫している点を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本整備は、既存の施設（放送塔、児童館、自治会長宅、自治会館、広報車）を最大限に活かした整備であり、コストパフォーマンスの高い計画となっている。</li> <li>・既に自治会の中に本提案事業のプロジェクトチームを立ち上げており、整備実現後も継続的に使用できる説明用展示物等を製作している。</li> <li>・専門性を要する工事となるため、直接的に工事に加わることはできないと考えているが、広報車への青色回転灯の設置申請や取り付け等、軽易な作業や雑務的なものについては労力を負担する。また、たくさんの方が利用する公園内の工事となるため、安全性の確保については積極的に関わりたい。</li> <li>・本提案事業の整備助成額で不足する部分が生じた場合には、自治会からの拠出を検討する準備ができています。</li> </ul>
<p>整備後の維持管理における地域での関わり方について、創意工夫している点を記入してください。</p>	<p>整備後の維持管理、運営は自治会が行う。具体案は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会活動にシステムの定期点検を取り入れる。</li> <li>・年2回のさわやか運動（清掃活動）、夏祭り、お花見会、防災訓練、消火訓練等の自治会行事やイベントにあわせて使用し、システムの状態や使用方法の確認をその都度行う。</li> <li>・維持管理費用、運営費用を把握し、自治会予算に組み込む。</li> </ul>

#### 4 実現性について

<p>整備計画について、関係者との調整状況等を記入してください。</p>	<p>放送塔及び児童館は公園内の既存施設なので、公園管理者である鶴見土木事務所と事前協議を設けており、改良整備に対する了承を得ている。</p> <p>また、地域住民を対象に本提案事業の周知を兼ねたアンケートを実施しており、「岸谷公園を中心とした防災・防犯拠点の再整備」に対して、世代を問わず関心と大半の支持を得ている。</p>
--------------------------------------	---

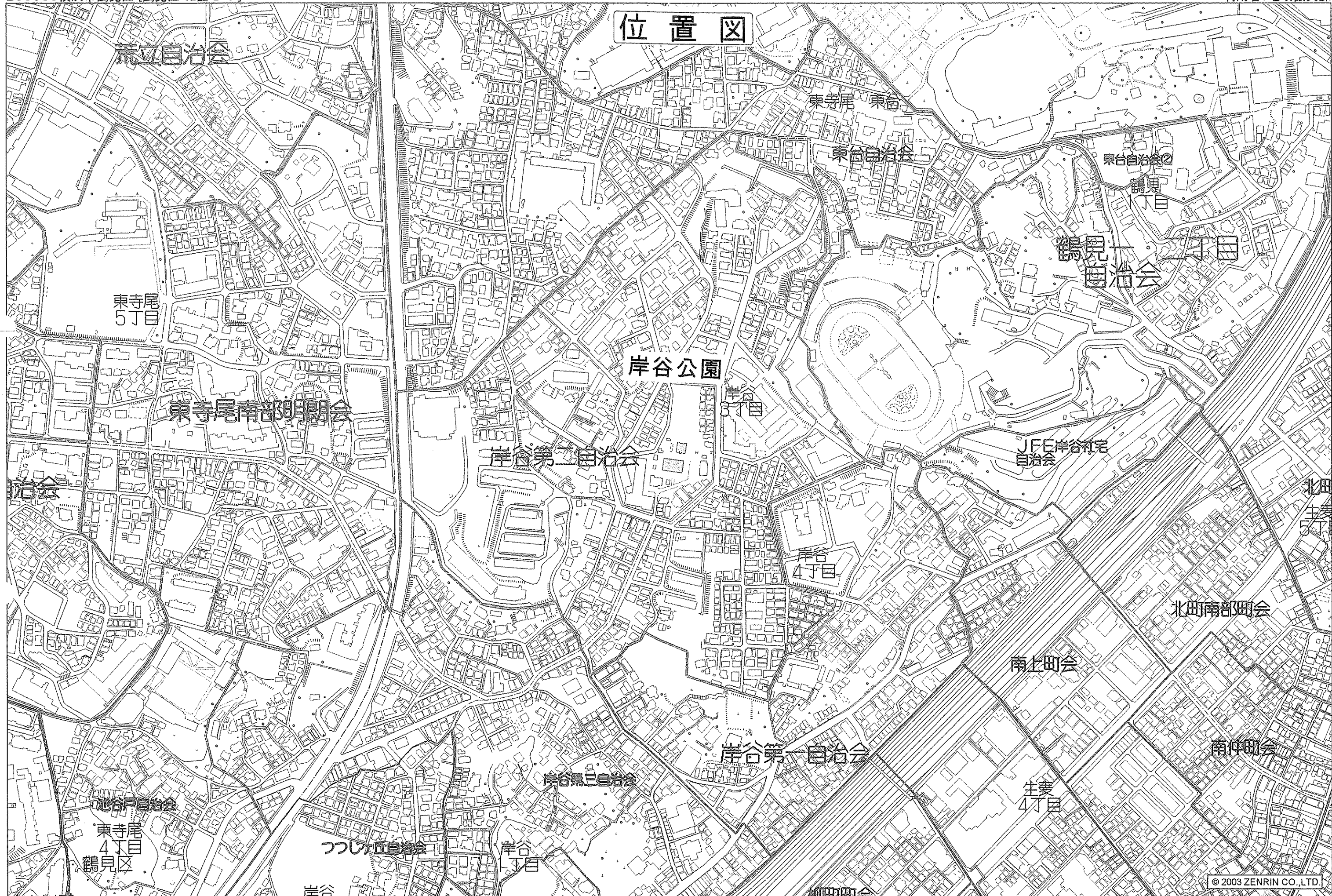
#### 5 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけに地域のコミュニティ形成やまちづくり活動が発展する可能性について、記入してください。</p>	<p>放送塔はまちのシンボルであり、これまでも災害時のみならず定時の時報や地域の行事、イベント等で使われてきており、地域住民の生活にすっかり溶け込んだ存在となっている。広報車もまた、イベントや防犯パトロールですっかり地域住民のなじみとなっている。また、児童館は各種イベントの会場となるほか、大雨のときなどには土砂災害の不安のある地域住民の避難場所となることもある。</p> <p>これらの地域活動の中核施設を総合的に結びつけ、機能の大幅な向上を図る本計画は、まちをあげての大プロジェクトとなるだけでなく、防災・防犯面の強化を目指す鶴見区においてモデル地区的な位置付けがなされることが期待される。そうなった場合には、多くの地域住民の関心を引くとともに、計画・整備・維持管理の各段階において自覚と気概のある人たちの積極的な参画が期待できる。</p> <p>また、防災訓練や消火訓練はもとより、お祭りをはじめとする各種イベント等においても積極的に活用・PRすることで、自治会役員だけでなく、特に若い世代の人たちがシステムの運営や更新に携われる仕組みをつくることができれば、今まで地域活動に参加していなかった人たちの地域参加や世代間交流が広がることも期待できる。</p>
--	---

#### 6 特にPRしたい点

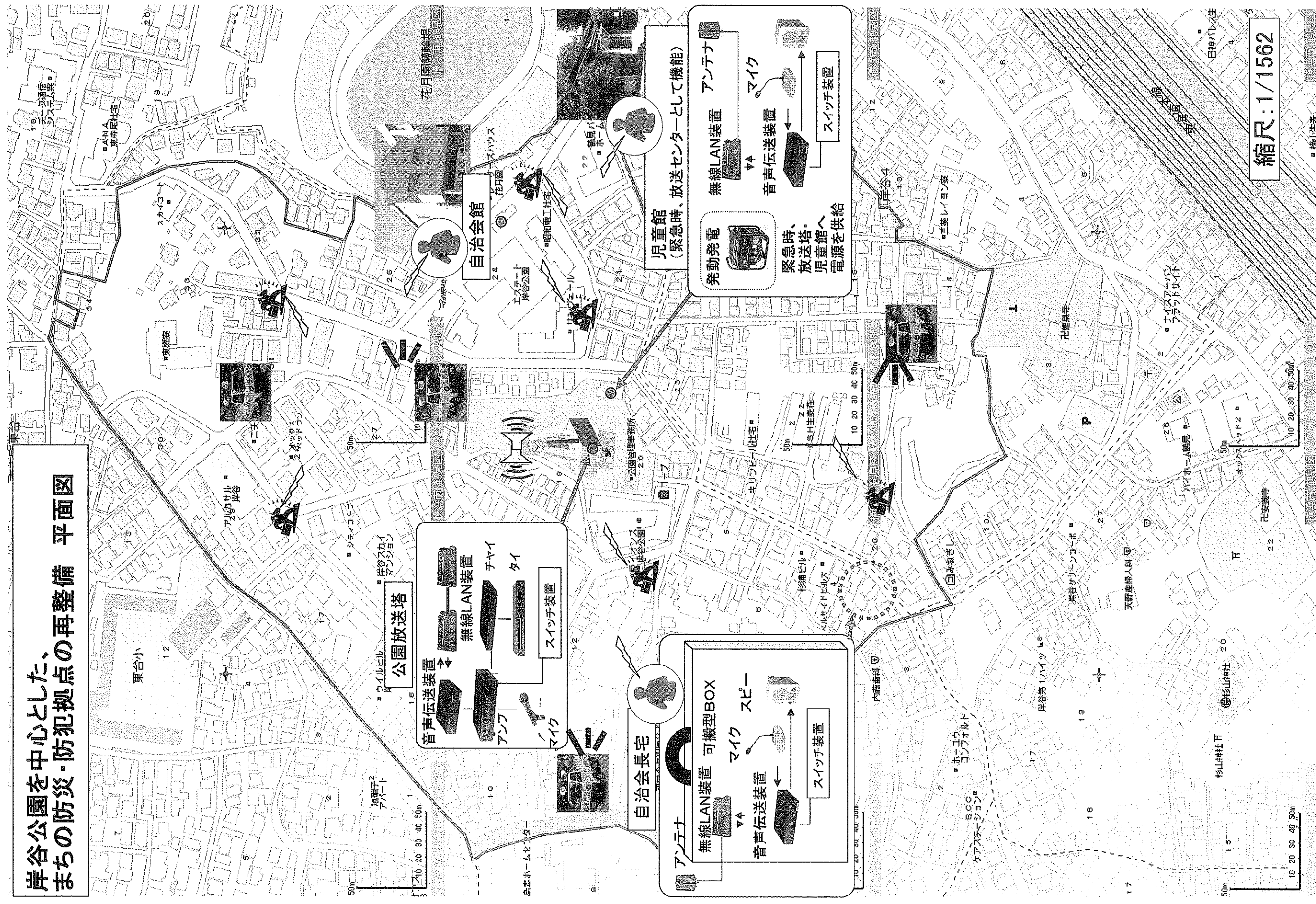
<p>整備提案について、特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>本提案は、既存施設を活用して、できるだけ少ない投資で最大限の効果を生み出すものと考えている。なかでも、放送塔はまちのシンボリック存在であり、これを改修することは、地域住民の防災・防犯意識の高揚に一役買うものと確信している。今回の再整備を他の地域にもPRし、区内全域の防災・防犯活動の充実に寄与したい。また、これを機に、そういう気概をもった人たちの地域活動への参加を促していきたい。</p>
--	---

# 位置図





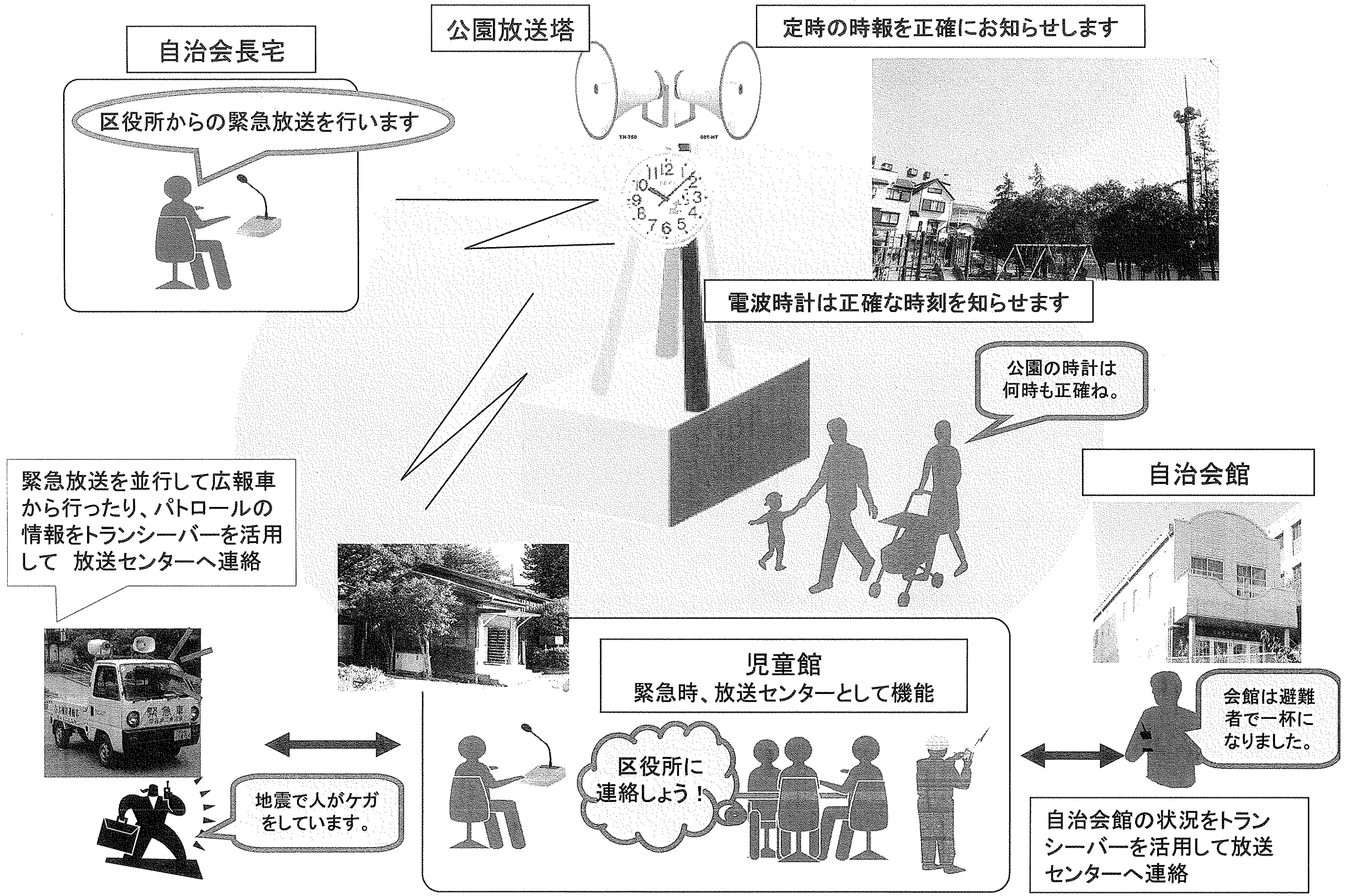
# 岸谷公園を中心とした、 まちの防災・防犯拠点の再整備 平面図



縮尺: 1/1562

岸谷山荘

# 岸谷公園を中心とした、まちの防災・防犯拠点の再整備 完成予想図



## ヨコハマ市民まち普請事業 想定整備費積算内訳書

項目	細目	内訳 (単価×数量) 注1)	整備費 小計 (円)	助成申請額 (円) 注2)
設計・管理費	設計費	50,000×8 人工	400,000	400,000
	図書作成費	50,000×2 人工	100,000	100,000
	小 計 (設計・管理費)		50,000	50,000
工事費 (資材費や機器リース料等も含む)	設置工事費	30,000×13 人工	390,000	390,000
	現地調整費	50,000×6 人工 (3名×2日)	300,000	300,000
	出荷前調整費	50,000×3 人工	150,000	150,000
	諸経費	140,000×1 式	140,000	140,000
	小 計 (工事費)		980,000	980,000
	放送塔設備	1,248,500×1 式	1,248,500	1,248,500
	児童館設備	521,000×1 式	521,000	521,000
	可搬式設備 (会長宅)	519,000×1 式	519,000	519,000
	中継塔設備	376,000×1 式	376,000	376,000
	小 計 (樹器費)		2,664,500	2,664,500
	無線 LAN システム構築費 合 計 (見積額)		4,144,500 税抜き	4,144,500 税抜き
		4,351,725 税込み	4,351,725 税込み	

その他	トランシーバー	23,800×4 個	95,200	95,200
	トランシーバー-中継器	35,800×1 個	35,800	35,800
	送料他	1,630	1,630	1,630
	青色回転灯	17,850×1 個	17,850	17,850
	合 計		150,480 税込み	150,480 税込み
総 合 計			4,502,205 税込み	4,502,205 税込み

想定整備費積算内訳書についての補足説明やPRしたい点があれば、記入してください。

- ・東電柱に共架する無線 LAN 装置のランニングコストは自治会で負担する。
- ・汎用性トランシーバーの活用と、無線 LAN を使用した音声伝達を効率よく使い分けることにより、費用を抑えた。
- ・できる限り既存設備の有効利用を図り無駄を省いた。

注1) 内訳欄は経費等を除き、原則として「一式」表示をしないでください。参考見積書も同様としてください。

注2) 整備助成申請額の総額は500万円以内としてください。

注3) できるかぎり参考見積書を添付してください。



# まち普請 検討途中経過報告

＜当初構想＞ 1,000万円以上

- ①児童館、放送塔、自治会館、自治会長、東台小学校、広報車の全てが常時双方向通信できる環境整備。（自治会内の無線LAN網を構築するためにアンテナを必要箇所に配置。）
- ②放送塔の長柱化。
- ③無線LANカメラの配置による、災害時の情報収集や適切な避難誘導。
- ④放送設備をシェルターに設置して耐震性を強化。
- ⑤ソーラー発電による災害時のバックアップ体制の確立。

＜第一段階＞ 700万円程度・・・△300万円以上

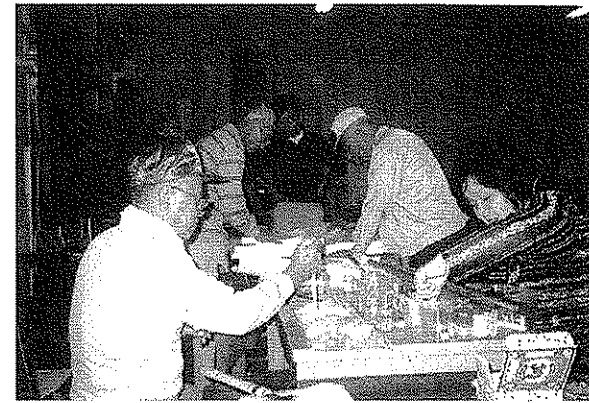
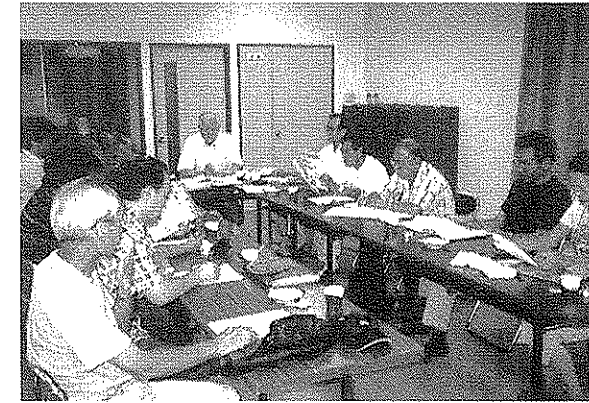
- ①無線LANによる通信は、児童館、放送塔、自治会館、広報車に接続したアンテナが拾える範囲のみとした。
- ②放送塔の長柱化は、専門家との検討で音質改善により音質を良くすることで同様の効果を得られることを確認し取りやめ。
- ③自治会役員等が児童館に参集する時に被害状況の把握をし、情報を収集することで代用。
- ④無停電装置と発電機の兼用による対応。

＜第二段階＞ 500万円程度・・・△200万円以上

- ①無線LANによる通信機器を必要最小限にして、自治会長宅と自治会館と広報車を共用できる可搬方とすることで費用を抑えることができた。

＜最終段階＞ 400万円程度・・・△100万円以上

- ①無線LANによる通信を必要最小限（直接放送塔マイクに音声を送信する、児童館、自治会長宅のみ）とし、それ以外の広報車等はトランシーバによる音声通信を利用することで大幅に費用を抑えることができた。
- ②その他の必要なトランシーバや緊急時に必要な設備は追加することとした。



打合せの様子

費用半減！ 目的達成！！